

種々Cr⁶⁺溶出防止剤の溶出試験-1

【実験経過】

PROCESS-1

純水 100mL に対して、首記の各検体 10g（環告 46 号の規定に準拠し、液/個=10/1）を計量し、マグネチックスターラーを使用し、500rpm×6 時間 回転攪拌（環告第 46 の規定では、振とう機を用いて振とう回数 200/分、振とう幅 4 cm 以上 5 cm 以下で 6 時間連続振とう攪拌）した。

PROCESS-2

攪拌後 30 分間 放置し、分離沈殿させた。

PROCESS-3

上澄み液の浮遊物を 5A の濾紙で濾過し、溶出検液とした。

PROCESS-4

・当該 六価クロム (Cr⁶⁺) 溶出試験は、(株) 共立理化学研究所製 デジタル簡易水質計「ラムダ-9000 (型式 : L-9000)」を使用し、ジフェニルカルバジド法により測定した。

(測定下限値 : 0.020 mg/L)

【測定結果】 Cr⁶⁺の溶出量基準 : 0.05 (mg/L) 以下

検体 (セメントに薬剤を 2% 混合)		六価クロム Cr ⁶⁺ 溶出量 (mg/L)
薬剤名	製造元	
普通ポルトランドセメント 100%		0.871
他社 Cr ⁶⁺ 薬剤 A	A 社	0.128
他社 Cr ⁶⁺ 薬剤 B	B 社	0.065
土壤元気君 Cr	恭誉建設 (株)	0.020 未満